

動ける喜び 人生楽しく

人工関節

医療機関ごとの治療実績を紹介する「病院の実力」は今回、「人工関節」を取り上

げる。神戸海星病院（神戸市灘区）の柴沼均・リウマチ・人工関節センター長（50）に、最先端の治療法などを聞いた。

（聞き手・藤基泰寛）

病院の実力

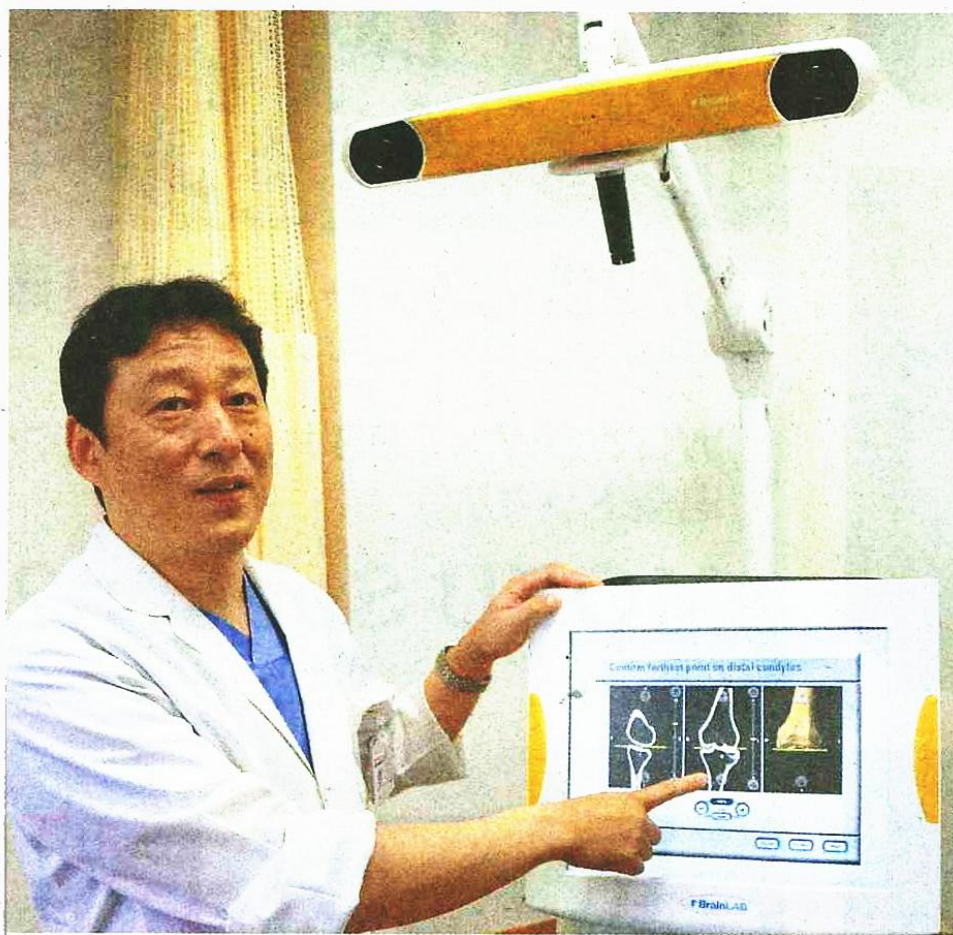
兵庫編77

加齢とともに膝や股関節が変形するのは決して特別なことではありません。高齢化社会が進み、関節の変形や痛みを抱え、人工関節の手術を必要とする患者さんは、この10年で倍近くに増えています。

実際の手術では、大きく曲がった膝に人工関節を正確に入れることは非常に困難で、熟練した医師でもわずかなずれが生じます。このずれが大きくなればなるほど、耐久性に影響が出ます。骨盤に埋め込む股関節の手術の場合では、埋め込

神戸海星病院（灘区）

柴沼均なお・リウマチ・人工関節センター長



ナビゲーションシステムの利点について説明する柴沼センター長（神戸市灘区で）

む角度によっては脱臼のリスクが高まります。

装置）で撮影。3次元のコンピュータグラフィック

当院では2010年に、ずれを減らすための「ナビゲーションシステム」を導入しました。コンピュータで手術の手助けをする装置で、手術する部位をCT（コンピューター断層撮影

が可能になりました。正確な指標が得られるので手術時間も短縮され、術後感染のリスク減少も期待できます。1台数千円ですが、治療成績ははるかに向上しました。

患者へのアフターケアも大切です。術後、半年〜1年ごとの検診で状態をチェックします。病院と患者がつながりを持ち続けられるようにと、2007年には「人工関節友の会」を設立しました。会員は2500人以上。医師や理学療法士、人工関節の利用者の講演会を定期的に関き、いつでも患者の相談に応じる体制を整備しています。

「歩きたい。人生を楽しみたい」と願い、90歳を超えて手術を受ける患者さんもいます。関節の変形や痛みのために、旅行や買い物などアクティブな生活を諦めている人には、ぜひ人工関節の手術について知ってもらいたいと思います。